



ストレートシロッコファン 耐湿タイプ 厨房用

据付工事・取扱説明書

本文は、耐湿タイプ及び厨房用の製品構造の違いにより、下記マークを付けています。お買いあげの機種名とタイプを確認の上説明書をお読みください。

耐湿タイプ BFS-50XA2 厨房用 BFS-50SXA2, TXA2
共通 耐湿タイプ・厨房用に共通項目

工事店様へ 据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。
据付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。

お客様へ

ご使用前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口」にご相談窓口のご案内とともに保管してください。

アフターサービスについて

三菱ストレートシロッコファンのアフターサービスは、お買上げの販売店が近隣の「三菱業務用/産業用換気送風機 修理窓口」にご相談窓口のご案内(別紙)にご相談ください。

■ご相談窓口

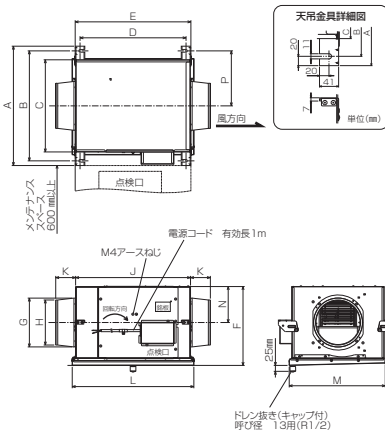
平日9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝・弊社休日以外)
三菱電機換気送風機技術相談センター...電話0120-726-471(無料)
電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの三菱ストレートシロッコファン[消費形耐湿タイプ]、三菱ストレートシロッコファン[厨房用]の補修用性能部品を製造切取り後9年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

3 外形寸法図



電源コード種類

耐湿タイプ

ビニールキャブタイケーブル
2芯×0.75mm²

厨房用

特殊耐熱ビニールキャブタイケーブル
単相: 2芯×0.75mm²
3相: 3芯×1.25mm²

●付属品 付属品は機種により異なります。下表を確認してください。

Table with columns: 形名, 付属品. Lists accessories for different models like BFS-50SXA2, BFS-100SXA2, etc.

変化する寸法表 (厨房用) ストレートシロッコファン

Table with columns: 形名, A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P. Lists dimensions for kitchen models.

変化する寸法表 (耐湿タイプ) ストレートシロッコファン

Table with columns: 形名, A, B, C, D, E, F, G, H, J, K, L, M, N, P. Lists dimensions for moisture-resistant models.

1 安全のために必ず守ること 共通

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告 (禁止, 水ぬれ禁止, 分解禁止, 接触禁止) and 注意 (接触禁止, ぬれた手で操作しない, お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る) icons and text.

4 仕様

注意 必ず過負荷保護装置を設置する. モータ焼損の原因. ※...最大負荷電流の1.2倍を目安に選定する。

仕様 (厨房用) ストレートシロッコファン

Table with columns: 形名, 電源, 公称出力(W), 種数(P), 羽根径(mm), 接続ダクト寸法(mm), 質量(kg), 最大負荷電流(A), 起動電流(A), 過負荷保護装置容量(A). Lists specifications for kitchen models.

仕様 (耐湿タイプ) ストレートシロッコファン

Table with columns: 形名, 電源, 公称出力(W), 種数(P), 羽根径(mm), 接続ダクト寸法(mm), 質量(kg), 最大負荷電流(A), 起動電流(A), 過負荷保護装置容量(A). Lists specifications for moisture-resistant models.

2 据付け前のお願い

警告 (爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない) and 注意 (ドレン配管の先端を雨どいなどに入れない, 燃焼器具の排気ダクトには据付けない) icons and text.

3 据付け前のお願い

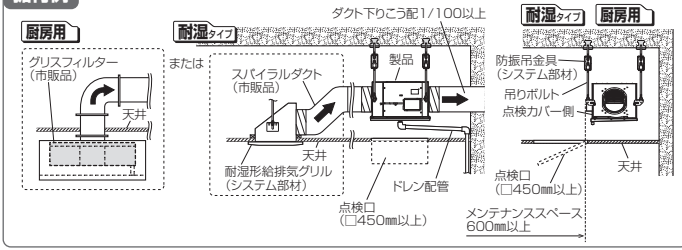
規制 (共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令によりダクトがφ150以下であれば2mの鋼板立上りダクト) and お願い (製品の据付場所が悪いと故障の原因になります) icons and text.

5 据付方法

1. 据付け前の準備

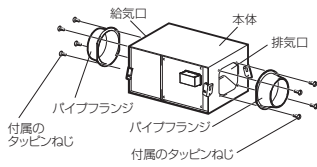
注意 開閉の際は手袋を着用する. お願い 据付け、運搬作業の際、羽根に触れないよう十分注意してください. 吸込側には羽根にほこり・油がすが付着しないように、フィルターの取付けをおすすめします.

据付例



5 据付方法 つづき

2. 本体の据付け



※厨房用は工場出荷時に給気口側のパイプフランジが取付られています。

1 製品本体にパイプフランジを付属のタッピンねじを使用して、取付ける。
※タッピンねじは、パイプフランジと同梱しています。
(タッピンねじはくり返し締め付けを行うと、ねじ山がつぶれてしまう可能性があります)

2 外形寸法図を参照し強固な据付場所に市販の吊りボルトを埋め込む。(据付例参照)

3 天吊金具を製品に固定する。

- (1) 天吊金具のねじをゆるめる。
- (2) ゆるめたねじを中心に天吊金具を90度回転させ、水平にする。
- (3) ゆるめたねじおよび付属のタッピンねじで製品にしっかりと締め付け、固定する。
※タッピンねじは、パイプフランジと同梱しています。
※天吊金具は工場出荷時本体にたんだ状態で固定されています。

4 本体が水平(1°以内)になるように本体を吊りボルトに据付け、吊りボルトに合う寸法の市販のワッシャー・ナット(M10)を使用し締め付ける。

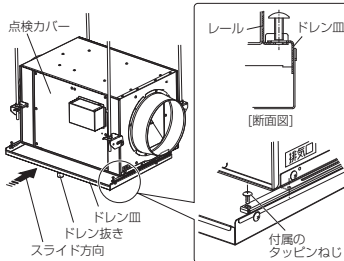
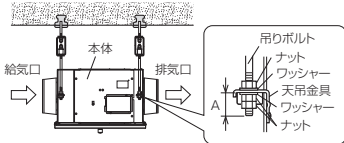
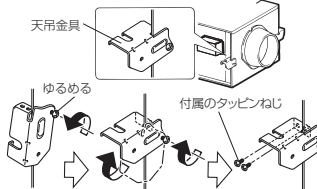
- 製品表面に結露のおそれがある場合は、断熱処理を行ってください。
 - A寸法を110mm以上にしないでください。本体と干渉するおそれがあります。
- ※垂直据付けはできません。
※ゆるみ防止のため、ダブルナットで確実に締め付けてください。

5 ドレン皿を据付ける。

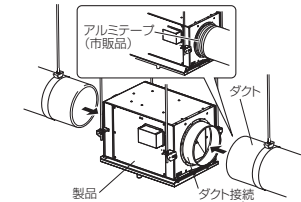
- (1) 本体のレールにドレン皿を設置する。
- (2) ドレン皿がレールに押しあたるまでスライドさせる。
- (3) 付属のタッピンねじ(2本)でレール(左右)とドレン皿を固定する。
※付属のタッピンねじは、パイプフランジと同梱しています。

お願い

- ドレン抜きが点検カバー側になるよう据付けてください。

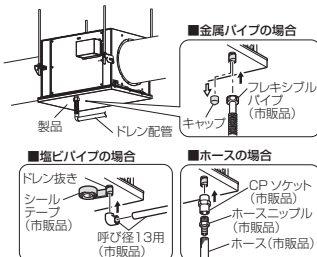


3. ダクト工事



- 給気口側・排気口側とダクト接続フランジにダクトをしっかり差し込み、市販品のリベットまたはねじなどで固定し、風漏れのないよう市販のアルミテープでテープングしてください。
- ダクトは製品に力がかからないよう天井より吊るしてください。また、本体に穴をあけてダクト接続をしないでください。本体内部の電気部を破損し、漏電・火災・感電のおそれがあります。
- 結露のおそれのある場合は断熱処理を行ってください。

4. ドレン抜き工事



- 浴室など湿度の高い場所の換気(消音形耐湿タイプ)または、厨房など油煙の多い場所の換気(厨房用)を行う場合には、必ずドレン抜き工事を行ってください。
- 製品下面にあるドレン抜きキャップをはずしてください。
- ドレン抜きねじは呼び径R1/2(呼び径13mm)です。
- 市販の配管部材に接続してください。(厨房用には必ず金属パイプを使用してください)
- ドレン抜きへの配管部材の締付トルクは30N・m以下で行ってください。(ドレン皿が変形するおそれがあります)
- ホース(市販品)を取付けの際、ホースバンドにて必ず固定してください。

お願い

- ドレン配管から水が漏れないように工事を行ってください。
- ドレン抜きとの接続はねじ部に市販のシールトテープを巻付けてから接続してください。
- パイプの端は、必ず処理可能なところまで導きドレン処理を確実に行ってください。
- 配管処理は、この配管をつけ、水および油がたまらないように行ってください。
- ドレン配管に結露や凍結のおそれがある場合は、必ず断熱処理を実施してください。

5. 電気工事

■電源接続時に端子カバーを取りはずす必要はありません。

警告

定格電圧・定格周波数以外では使用しない
火災・感電の原因。
アースおよび漏電ブレーカを確実に取付ける
故障・漏電のときに感電の原因。

注意

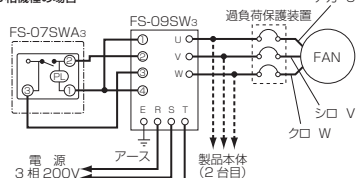
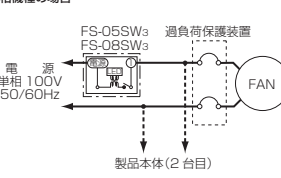
電気工事は必ず有資格者である電気工事が電気設備技術基準や内線規程に従って行う。絶対に「手より接続」はしない。
又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属製ボックス及びボックスカバー」内で行う
接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

コントロールスイッチ(別売システム部材)との組み合わせ

※図中太線および破線部分は、電気工事の資格を有する方に施工してください。

単相機種の場合

3相機種の場合



お願い

- モータ焼損のおそれがあるため、モータブレーカ又は電磁閉閉器(電磁接触器+サーマルリレー)の過負荷保護装置を電気設備技術基準や内線規程に従って設置してください。
過負荷保護装置は必ず機種1台ごとに設置してください。過負荷保護装置の選定は「4(仕様)」の最大過負荷電流の1.2倍を目安にしてください。ただし、製品本体に過負荷保護装置の定格表示があるものは、表示内容に従い過負荷保護装置を設置してください。
- スイッチの容量選定にあたっては起動電流×接続台数の容量としてください。
また、電磁接触器を操作するスイッチの容量は電磁接触器の操作コイル電流以上としてください。
- 「入」「切」運転する場合は、コントロールスイッチ(別売システム部材)が必要で、結線および使用方法はコントロールスイッチに付属の取扱説明書を参照してください。なお、3相製品はコントロールスイッチのみでは制御できません。必ず3相用コントロールボックス(別売システム部材)または電磁接触器と組合せて結線してください。
- ファンインバータ(別売システム部材)で制御する際は、各製品の定格周波数を上回る設定では運転しないでください。モータが発熱し故障の原因となります。
- 3相200V製品、ダクト接続する前に必ず回転方向を確認してください。
- 3相200V製品の電源接続は、本体の結線図銘板をよく確認し、電源線をU、V、Wに正しく接続してください。接続を間違えますと逆回転します。(風量低下の原因になります)
回転方向が逆の場合は3本の電源のうち2本を入れ換えてください。

6 据付工事後の確認・試運転

【工事店様へ】

据付け、ダクト工事、電気工事終了時には、下記項目を確認後、必ず試運転を行ってください。
(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません)

1. 製品は確実に据付けてありますか。
2. 電源コードに傷はありませんか。
3. 電源電圧は正しいですか。
4. 正しく結線されていますか。
5. 正しくアース工事はしてありますか。

こんなとき	原因	点検
電源を入れても羽根が回転しないもしくは遅い	正しく結線されていない	単相品の場合 ●電源線は2本とも確実に接続できているか。 3相品の場合 ●電源線は3本とも確実に接続できているか。 ●電線が極端に減少している場合は羽根が逆回転しているおそれがあるので、3本の電源線のうち2本を入れ換える。
風量が少ない	正しく据付けられていない	●製品の定格にあった電源が接続されているか確認する。 ●ダクトに極端な曲げや、しぼりがないか確認する。
異常な振動・騒音がある	正しく据付けられていない	●天吊金具、吊りボルト、端子カバー、ドレン皿、ドレン配管が確実に締め付けられているか確認する。 ●アルミテープの隙間から風漏れしていないか確認する。 ●製品の据付場所が十分強固であるか確認する。 ●ダクトは製品に力がかからないように吊られているか確認する。

7 お手入れのしかた

【お客様へ】

警告

お手入れの際は必ず分電盤のブレーカを切る
感電やけがの原因。

注意

お手入れの際は手袋を着用する
端面などでけがの原因。

- フィルター(給気口側)をご使用の場合は定期的に清掃を行ってください。
給気口側に取付られた市販品のフィルターは種類・仕様により清掃方法も異なりますので注意してください。
●フィルターの目づまりは風量の極端な減少の原因になります。

- モータの軸受けには、両シールドの玉軸受が使用してありますので、注油の必要はありませんが、グリースの寿命は、耐湿タイプが約3万時間、厨房タイプが約2万時間ですので使用状況(異常音・風量減少など)によっては、点検のうえモータの交換が必要で、モータの交換は専門の工事店に依頼してください。

- モータに安全装置として、温度ヒューズが内蔵されているものがあります。
●温度ヒューズ内蔵機種……単相100V機種
●ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

- 製品を長期安心してご使用頂くために、半年に一度を目処にお手入れおよび点検(ねじのゆるみ、ほこり・油の堆積、錆、腐食の発生のないこと)を行ってください。
(汚れのひどい環境の場合は点検周期を早めてください)

8 保守点検

【工事店様へ】

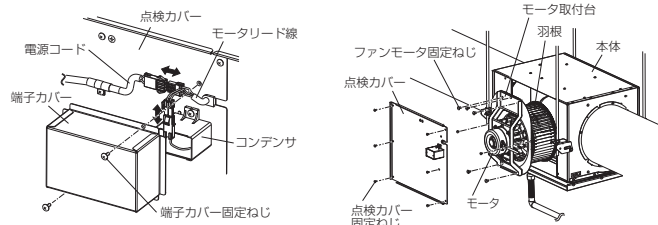
- お願い** ●**厨房用** ストレートシロッコファンをご使用の場合は調理に用いる油が製品内部・羽根・ドレン皿・ドレン配管に溜ることが想定されます。そのまま放置されますと、過負荷によるモータ焼損・異常振動・異臭や水・油漏れの原因となりますので半年に一度を目処に点検をしてください。
(汚れのひどい環境の場合は点検周期を早めてください)

警告

保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る
感電やけがの原因。

注意

保守点検の際は手袋を着用する
端面などでけがの原因。



モータや羽根に異常があった場合は次の手順で点検してください。

- (1) 端子カバーをはずす。
- (2) モータリード線と電源コードのコネクタをはずす。
- (3) モータリード線とコンデンサのコネクタをはずす。(単相機種のみ)
- (4) 点検カバー固定ねじをはずして、点検カバーを本体からはずす。
- (5) モータ取付台のファンモータ固定ねじをはずして、羽根・モータを引き出す。

お願い

- モータリード線を無理に引っぱらないでください。
- モータは重いため、モータ・羽根に傷を付けないよう、またけがないよう取扱いには十分注意してください。

清掃のしかた

- 羽根、ドレン皿は中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸して汚れを落とし、水で洗いよく乾かしてください。
その際は電気部品に水がかからないよう注意してください。
- 清掃後は中性洗剤を溶かした布で汚れを拭き取り洗剤が残らないように乾いた布でよく拭き取ってください。

お願い

- お手入れに下記の溶剤などを使用しますと変質・変色する原因になります。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤